

平成26年度 第2回

評 議 員 会

平成26年9月4日(木)

議 事 録

公益財団法人 武蔵野市福祉公社

平成26年度 第2回 評議員会 議事録

- 1 開催日時 平成26年9月4日(木)
午後6時30分から午後8時15分まで
- 2 開催場所 公益財団法人武蔵野市福祉公社 1階 会議室
東京都武蔵野市吉祥寺北町一丁目9番1号
- 3 評議員の現在数 5名
- 4 出席者 評議員5名
議長(会長) 渡部 敏夫 評議員 鈴木 省悟
評議員 森田 邦夫 評議員 岩岡 由美子
- 5 欠席評議員数及び氏名 評議員1名
評議員 江幡 五郎
- 6 傍聴者 0名
- 7 議事日程
日程第1 議案第7号 評議員会会長の選定について
日程第2 議事録署名人の選出
日程第3 議案第8号 老後福祉基金の一部取り崩しについて
日程第4 議案第9号 平成26年度補正予算(第2回)について
日程第5 議案第10号 評議員の選任について
日程第6 報告事項1 社屋購入について
日程第7 報告事項2 新規事業案(有償在宅福祉サービスの見直し)について
- 8 議事録作成者 理事長 長澤 博暁
- 9 議事録署名人 議長(会長) 渡部 敏夫
評議員 鈴木 省悟
評議員 岩岡 由美子

長澤理事長(仮議長)から、本日の出席者について、定款第20条の規定による定足数を満たしており、本評議員会は有効に成立している旨の

報告があった後に、日程第1議案第7号において新たに会長に選定された渡部会長（議長）から本評議員会の議事録署名人に鈴木省悟評議員及び岩岡由美子評議員の2名を選任し、両氏もこれを承諾した。

10 議事の経過及び結果

高橋管理係長から、定款第19条の規定により「議長は評議員会会長がこれに当たる」こととなっているが、会長が未選定であるため、会長が選任されるまでの間は長澤理事長に仮議長をお願いしたい旨の提案がなされ、評議員からは異議がなかったため、会長が選定されるまでの間は長澤理事長が仮議長を務めた。

議案第7号 評議員会会長の選定について

高橋管理係長から、提案理由の説明がなされた。

岩岡評議員から、渡部評議員を会長に推薦する旨の意見がなされた。

他の評議員から意見はなく、議案第7号について、全会一致で、渡部敏夫評議員を会長に選定することに決議した。

議事録署名人の選出について

渡部議長から、本評議員会の議事録署名人に、鈴木省悟評議員及び岩岡由美子評議員の2名を選任し、両氏もこれを承諾した。

議案第8号 老後福祉基金の一部取り崩しについて

議案第9号 平成26年度補正予算（第2回）について

渡部議長から、一括審議の申し出がなされ、他の評議員からは意見はなく一括して審議することとした。

福島常務理事及び高橋管理係長から、それぞれ提案理由の説明がなされた。

鈴木評議員から、5年間のリースと比較すれば割高になってしまうということであるが、日進月歩で進んでいくネットワークサーバー式を買い取りにすることについて今後その機器で大丈夫であるのか、次の機器更新の際に処分費用発生の問題がありリスクが伴うのではないかという旨の質問がなされた。

福島常務理事から、当初は、従来どおりリース契約を想定していたが、買い取りとの比較差額が約700万円になる。例えば5年リース契

約の場合で3年経過後に新しい機器に入れ替えるとしてもリース残額は負担（負債）として残り、使用期間のみ支払えばよいということではないことから、買い取りで5年経過後に処分する場合と5年リースで同様にした場合とでは差がないと考えている旨の回答がなされた。

鈴木評議員から、将来使えなくなり、新たな機器の費用と二重払いになるようなリスクを冒しても購入することは危険が伴うのではないという旨の意見がなされた。

また、最近ではクラウド型サーバー等のように機器を借りる方向に動いている中で、購入する結論に至った根拠が薄いという旨の意見がなされた。

福島常務理事から、金額的にはリース契約であっても機器を使用しなくなった時点でリース残額の支払いが免除されるものではなく、市に相談したところ、一括購入する予算があるのであれば購入したほうが有利である、という意見を頂いたうえで購入する結論に至った旨の説明がなされた。

鈴木評議員から、ソフトウェアを変更することに伴う既存システムのデータコンバート及びその費用について質問がなされた。

福島常務理事から、仕様書の中で、データコンバート費用を提案総額に含めていただくようにしており、ソフトウェアの法改正等への修正対応についても、保守サポートとして5年間の費用も含めて総額として提案頂くように定めている旨の回答がなされた。

鈴木評議員から、OSの仕様については、Windows 7にするのかWindows 8にするのか、使いやすさの面でも検証をし直さないか難しいのではないかとという旨の質問がなされた。また、5年経過後したときに、リース契約では借り換えで済むが、買い取りにした場合、データ消去や機器の処分等について責任をもって全部行うことに危惧を持っている旨の意見がなされた。

福島常務理事から、最後の処分とデータコンバートについては、処分費用とデータ抽出費用についてプロポーザル総額費用に入れて提案頂くこととしており、OSについては、サポート終了期間を勘案しWindows 8.1を想定している旨の回答がなされた。

鈴木評議員から、業務が滞りなく継続できるかが問題であり、リース契約の場合は機器がクラッシュした場合、全機器を替えることができるのではないと思うが、買い取りの場合はすべて自己負担になってしまうのではないかとという旨の質問がなされた。

高橋管理係長から、機器がクラッシュした場合、リース契約である

ことから機器の入替費用がかからないということはない旨の回答がなされた。

鈴木評議員から、想定外の故障を起こした場合、それが使用する側のミスではなかった場合、欠陥品である旨の発言がなされた。

福島常務理事から、リース契約でも買い取りでも、瑕疵担保責任を契約上どのように定めるかが問題と考えており、保守期間中はしっかり動くような契約をしていく旨の回答がなされた。

森田評議員から、リース契約ではなく買い取りにするだけの説得力がないため、もう少し議論する必要がある旨の意見がなされた。

また、6,000万円の概算内訳について質問がなされ、補正予算明細書9頁のリース料を0円にしているが既リース料も0円としているのかという旨の質問がなされた。

高橋管理係長から、リース料を0円補正したものは、当初予算の段階で新たにシステム構築するリース費用の分を管理費で計上しており、これを買取りに変更するため0円にしたものであり、既存のリース費用は、補正せずに各事業にそのまま計上している旨の回答がなされた。

福島常務理事から、リース契約は、メーカーからリース会社買い取り、リース料率を掛けて（5年間）リースをするという形になり、3年で新しいのにしてくれと言っても、残り2年分の負担が残っており、当然、その分も負担をするという契約になっているため、リースの効果としては、税負担があるような会社では毎年毎年の経費になるが、福祉公社は公益財団法人になっているためそのようなメリットもなく、当然、資金がなければリースやクレジット払いという形しかとれないが、幸いにも基金等があるため、一括して支払ったほうが最終的な支払総額としては安くなるという会計監事からのご指摘もあり、購入の方向で、理事会で決議をした結果である旨の説明がなされた。

鈴木評議員から、購入とリースとの欠点やメリットに関して矛盾している旨の発言がなされた。

長澤理事長から、例えば5年リース契約をし、3年で機械が使えなくなったとした場合に、残りの2年分のリース料金も払わなければならない、なおかつ、また新たにリース契約をし直すため、新たに費用が発生するという意味では、購入もリースも同じだというように理解している旨の発言がなされた。

福島常務理事から、3年で陳腐化し新しいものにしなければならなくなった場合には、リースでも、購入をした場合でも、当然新しい機

器を導入する必要がある、リースの場合であっても、当然、総額を最終的に支払った上で次のものを導入しなければならないため、(金銭的)負担としては変わらない旨の説明がなされた。

また、レンタルとは違い、あくまでもリース契約であるため、リース会社が購入した総額を、5年間で分割してお支払いするという形になっている旨の説明がなされた。

森田評議員から、レンタルとリースと買い取りの中で一番有利なのはレンタルであるかという旨の質問がなされた。

福島常務理事から、レンタルが有利である旨の回答がなされた。

森田評議員から、なぜレンタルの手法を取らなかったのかという旨の質問がなされた。

福島常務理事から、レンタルという想定で借りたい期間だけ払うという契約を望んだ場合は、一般的に、次に借りる人はいないため、相当高額なレンタル料でないと契約者側としては難しいだろうと考えられるため、レンタルの手法はない旨の回答がなされた。

鈴木評議員から、買い取りが有利だと言うが、日進月歩で進んで行くことを考えれば、買い取ったものをどう処分するのかという、後の問題について質問がなされた。

福島常務理事から、処分費は見込んで提示をしていただき、例えば次に業者が変更になる場合には、データ抽出をする費用も含めて提案いただくように示させていただいている旨の回答がなされた。

高橋管理係長から、森田評議員からの6,000万円の内訳の質問について、サーバー機器関連のハードウェアが約2,100万円、業務システムについては約1,000万円であり、導入一時費用の1,500万円については、導入費1,250万円の他、LANの敷設に約100万円、暗号化ソフト導入に150万円である旨の回答がなされた。

森田評議員から、現在ある82台を、少しずつではなく一度に入れ替える予定であるのかという旨の質問がなされた。

福島常務理事から、Windows 7をベースに使用している在宅介護支援センターの分を除いた82台については、一度に入れ替える予定である旨の回答がなされた。

鈴木評議員から、福祉公社の総台数について質問がなされた。

福島常務理事から、82台の他に8台ある旨の回答がなされた。

鈴木評議員から、Windows 7とWindows 8の双方のデータのやり取りに支障がないように、また、Windows 8に対応していないソフトウェアも多いため検証をしたうえで導入するように

意見がなされた。

(休憩)

休憩に引き続き評議員会再開の後、他の評議員から質疑、意見はなく、議案第8号について、「情報機器については日進月歩であること、廃棄時の処分の問題、瑕疵担保責任の問題、既存機器との互換性等、問題の無いように実施されたい」という付帯意見をつけ、全会一致で、本案は可決承認された。

引き続き、他の評議員から質疑、意見はなく、議案第9号について、全会一致で、本案は可決承認された。

議案第10号 評議員の選任について

高橋管理係長から、提案理由の説明がなされた。

評議員から質疑、意見はなく、議案第10号について採決の結果、全会一致で、本案は原案のとおり、本日付で、公益財団法人東京都武蔵野市歯科医師会副会長水村裕一氏を評議員に選任することを可決承認された。

議決した後、森田評議員から評議員辞任のご挨拶がなされた。

11 報告事項

報告事項1 社屋購入について

高橋管理係長から、報告理由について説明がなされ、福島常務理事から、社屋購入について、土地及び建物を取得した結果の報告、租税公課費等の維持管理経費の説明、及び、資金運用について公債等で効果的に運用する旨の報告がなされた。

評議員から、質疑や意見はなかった。

報告事項2 新規事業案〈有償在宅福祉サービスの見直し〉について

高橋管理係長から、報告理由について説明がなされ、荒井在宅サービス課長から、利用者アンケート結果に基づく事業案の修正事項等について説明がなされた。

鈴木評議員から、2025年に向けて、地域包括ケアシステムを構築しなければならないことに関連して、この新たなサービスが合致して

いるのかという旨の質問がなされた。

長澤理事長から、現行の高齢者健康福祉事業計画等でも、リハビリテーションの項目で、それぞれの役割分担の中でやっていこうということで図表化されていると思いますが、福祉公社としては、権利擁護事業、認知症の高齢者等が増えてきましたので、権利擁護事業を中心とした地域包括ケアシステムの中の一つと想定されるのではないのかという旨の回答がなされた。

また、市から具体的に示されていないため、役割分担としての包括システムの中の一つとしてそのようなものがあるが、協力員も今後の検討課題として、市と協議をしながら地域包括システムの一翼を担えるような形で実施したい旨の回答がなされた。

鈴木評議員から、地域で支えることについて、先日、ケア会議を行ったところ、いろいろな方が集まってこない隙間を埋めることについて教育委員や民生委員等の地域で活動している方たちの協力がないと難しいところがあるため、協力員を廃止してしまうことはもったいない感じがあり、何年か先を見据えて、どこかとタイアップして少しずつ登録していくようなことを考えてはどうかという旨の意見がなされた。

荒井在宅サービス課長から、協力員制度は、昭和56年に地域の主婦が持てる力を地域の皆さんに還元したいということで始まったシステムで、三十数年間、ご利用者様の支援をしてきた。今後は、地域支援事業の中で、いろいろな担い手が必要になってくると考えられるため、ヘルパー資格を持つ方だけでなく、資格を持たない方も介護に関わっていただけるよう体制を、協力員制度のノウハウを生かして、ホームヘルプセンターに構築していけないかと考えている旨の回答がなされた。

他の評議員から、質疑や意見はなかった。

12 連絡事項

高橋管理係長から、次回理事会の日程について、概ね12月頃を目途に日程を調整させていただきたい旨の連絡がなされた。

また、本日机上配布した平成26年度版定款・諸規程集はお持ち帰り頂くように連絡がなされた。

以 上



本評議員会の決議を証明するため、議長及び議事録署名人において署名押印します。

平成 26年 11月 18日

議長（評議員会会長）

渡部 敏夫



議事録署名人（評議員）

鈴木 省悟



議事録署名人（評議員）

岩岡 由美子



